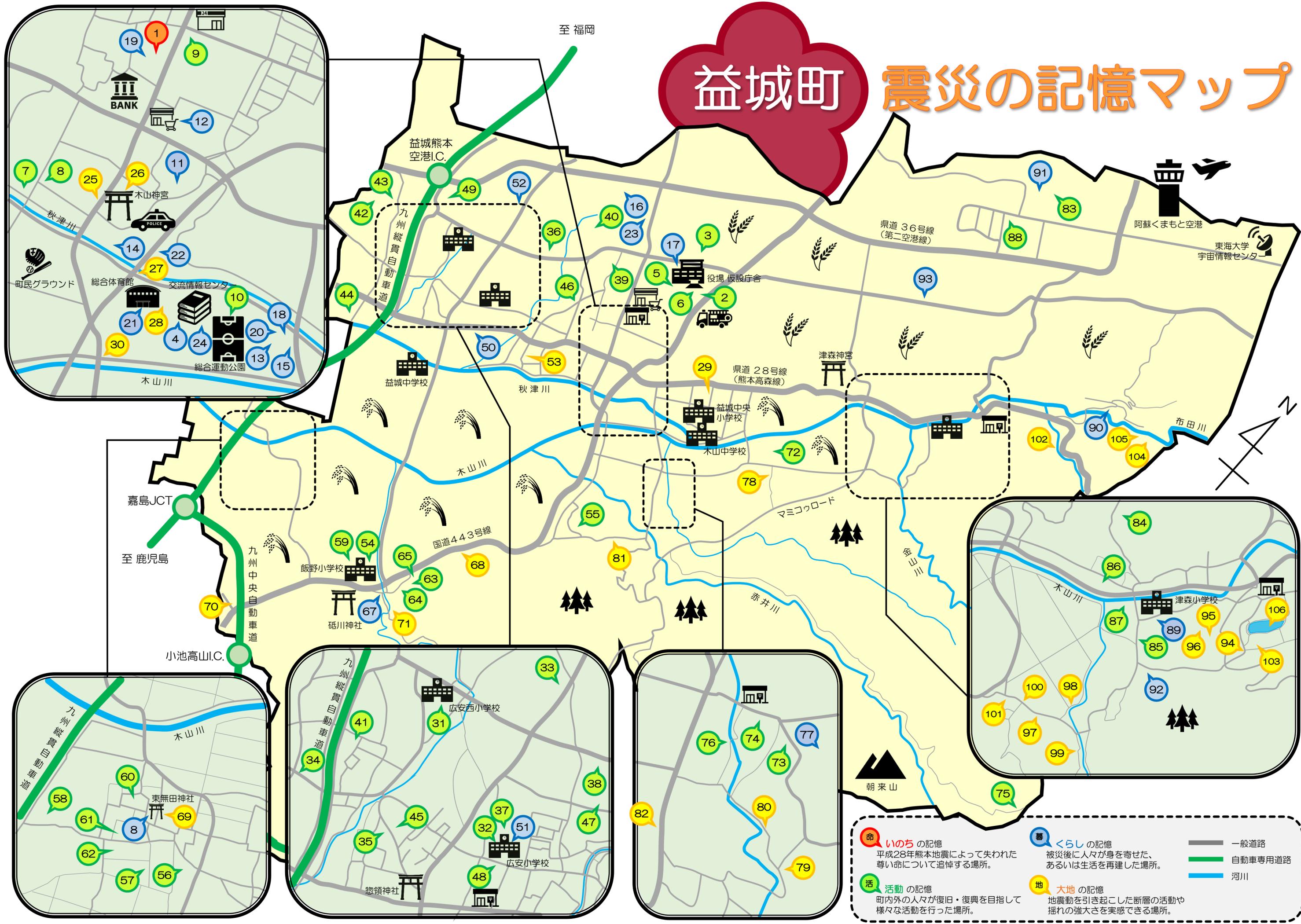


益城町

震災の記憶マップ



No.	名称	所在	概要	記憶	No.	名称	所在	概要	記憶	No.	名称	所在	概要	記憶
1	益城町役場新庁舎等	宮園708-1	復興のシンボルの一つであり、住民に永く親しまれ、災害に強い安心安全の拠点として、旧役場の跡地に新庁舎が建設される予定。敷地内には、震災記念公園（仮称）も整備される予定。	いのち	35	福富仮設団地	福富361	全6戸の仮設住宅団地に、最大6戸・13人が入居していた（平成29年11月時点）。	くらし	75	袴野地区	マミコロードより車で30分	益城町東部山間の集落。震災以前より人口が減少していたが、震災以降、住民の流出が加速し、令和元年10月に無人集落となった。	くらし
2	木山上辻仮設団地	木山740-1	全64戸の仮設住宅団地に、最大63戸・148人が入居していた（平成29年2月時点）。	くらし	36	馬水東道仮設団地	馬水373	全56戸の仮設住宅団地に、最大56戸・144人が入居していた（平成28年11月時点）。	くらし	76	公民館福田分館	福原1970-1	震災の直後より避難所として開設され、ピーク時には約50人が避難した。	くらし
3	木山仮設団地	木山866	全220戸の仮設住宅団地に、最大218戸・566人が入居していた（平成29年1月時点）。町内各仮設団地の入居者減少に伴い、令和2年6月より木山仮設団地に集約が行われる予定。	くらし	37	馬水西原仮設団地	馬水39	全54戸の仮設住宅団地に、最大54戸・134人が入居していた（平成29年5月時点）。	くらし	77	第5保育所跡地	福原1043	町内の保育施設の中で特に大きな被害を被り、平成30年5月に解体された。跡地は、遊遊地として整備された。	活動
4	交流情報センター（ミナテラス）	木山236	避難所として想定はされていなかったが、地震の直後には車中泊も含め約300人が避難した。	くらし	38	馬水仮設団地	馬水402-1	全77戸の仮設住宅団地に、最大77戸・209人が入居していた（平成28年8月時点）。	くらし	78	平田中公民館敷地内消防小屋	平田956	公民館敷地内の消防小屋の直下を断層が通っていることを明確に確認することができる。小屋の内部も被災当時の状態が保たれている。	大地
5	木山下辻団地	木山597	町内では最も規模の大きい災害公営住宅団地であり、鉄筋コンクリート造5階建てを4棟、全120戸を整備。令和2年3月完成予定。	くらし	39	安永東仮設団地	安永1113-1	全43戸の仮設住宅団地に、最大43戸・94人が入居していた（平成29年3月時点）。	くらし	79	布田川断層帯（福原地区）	福原1770-1	住宅敷地内に断層が「V字型」に表出しており、左横ずれと右横ずれの痕跡を同時に確認できる。珍しい断層（共役断層）。国の天然記念物に指定された。	大地
6	木山上辻団地	木山762	鉄骨造2階建ての災害公営住宅で、14戸を整備。令和2年2月完成。	くらし	40	安永仮設団地	安永1213-1	全70戸の仮設住宅団地に、最大69戸・186人が入居していた（平成28年11月時点）。	くらし	80	道路法面の石垣	福原地内	福原地区の家屋（No.79）から南西方面に延びる断層を確認できたが、現在は復旧済み。	大地
7	宮園第1団地	宮園487-1	鉄骨造2階建ての災害公営住宅で、24戸を整備。令和元年12月完成。	くらし	41	古閑団地	古閑367-1	鉄骨造2階建ての災害公営住宅で、10戸を整備。令和元年12月完成。	くらし	81	町道南木崎線沿いのクラック水路	福原6346付近	地震によりずれた集落内の水路が保存されており、被災当時の被害が見て取れる。	大地
8	宮園第2団地	宮園450-1	鉄骨造2階建ての災害公営住宅で、6戸を整備。令和元年12月完成。	くらし	42	広崎第2団地	広崎1442	鉄筋コンクリート造5階建ての災害公営住宅を2棟、全78戸を整備。令和2年3月完成予定。	くらし	82	路上と側溝のスレ	公民館福田分館より県道57号沿いに南へ約300m	側溝や路面の塗装のすれより、福原地区から南西の赤井・飯野方面へ断層がはまっていることが確認できた。現在は復旧されている。	大地
9	市ノ後第2団地	宮園720-2	鉄筋コンクリート造5階建ての災害公営住宅で、40戸を整備。令和2年3月完成予定。	くらし	43	広崎第3団地	広崎1246	鉄筋コンクリート造5階建ての災害公営住宅で、43戸を整備。令和2年1月完成。	くらし	83	テクノ仮設団地	小谷2083-7	県内最大の仮設住宅団地。全516戸の団地内に、最大507戸・1,334人が入居した（平成28年12月時点）。敷地内には仮設商店街、スーパー、バス停も設けられた。	くらし
10	益城町総合運動公園	木山236	平成28年4月24日～5月末までテント村が開設された。ピーク時の平成28年5月中旬には、766人がテントにて避難生活を送った。	くらし	44	広崎第4団地	広崎606-2	鉄骨造2階建ての災害公営住宅で、12戸を整備。令和2年3月完成予定。	くらし	84	津森仮設団地	田原517-3	全73戸の仮設住宅団地に、最大64戸・157人が入居していた（平成29年5月時点）。	くらし
11	益城町文化会館	木山381-1	震災により被害を受けたが、様々な活動・団体の拠点や、説明会の会場となった。	活動	45	福富団地	福富865-1	鉄骨造2階建ての災害公営住宅で、24戸を整備。令和2年2月完成予定。	くらし	85	上陳団地	上陳339-1	木造平屋建ての災害公営住宅で、7戸を整備。令和2年1月完成。	くらし
12	いくばい益城笑店街	木山405-1	飲食店や美容院など、被災した町内の事業者が集まる仮設店舗。平成29年1月にオープンし、全7店舗が出店した。	活動	46	安永団地	安永899-1	鉄筋コンクリート造5階建ての災害公営住宅を2棟、全93戸を整備。令和2年3月完成予定。	くらし	86	田原第2団地	田原184-1	木造平屋建ての災害公営住宅で、16戸を整備。平成31年1月完成。	くらし
13	つといの広場とんとん	福原690-1	就学前の児童とその保護者を対象に解放されている交流の場。活動の場が震災によって甚大な被害を受け、移転を余儀なくされた。令和2年3月より、益城町役場仮設庁舎内において活動予定。	活動	47	馬水団地	馬水442-1	鉄筋コンクリート造5階建ての災害公営住宅を2棟、計108戸を整備。令和2年3月完成予定。	くらし	87	公民館津森分館	上陳363-1	震災後の平成28年6月には、最大37名が避難生活を送った。	くらし
14	ましきラボ	秋津川河川公園内	熊本大学が平成28年10月に設置した、住民と熊本大学の学生・教員が気軽に語り合える場所。様々なイベントにも活用される。	活動	48	保健福祉センター（はびねす）	惣領1470	電源や通信施設が無事であったことから、前震の直後に町の災害対策本部が設置されるなど、様々な活動の拠点となった。大量の避難者も押し寄せ、本震後には約900人が身を寄せた。	くらし	88	エミナス	田原2071-1	滞在型のリゾートホテル。本震の直後には、最大約2,000人の避難者の受け入れが行われた。	くらし
15	社会福祉協議会	福原690-1	旧中央公民館にて活動していたが、地震により甚大な被害を受けたため機井関熊本製造所に協議会の機能を移設した後、旧中央小跡地に再度移設した。	活動	49	グラムメッセ熊本	福富1010	熊本県により物資の集積所として指定されていたため、避難所としての想定はされていなかった。しかし、本震後には約10,000人が車中泊にて避難した。	くらし	89	旧四賢婦人記念館跡地	上陳455	近代日本の女子教育や女性の地位向上に尽力した益城町出身の女性たち、「四賢婦人」に関する資料等を展示していたが、震災により運営継続が不可能となり取り壊された。	活動
16	ボランティアセンター	安永1400	益城町社会福祉協議会により、平成28年4月21日から平成29年4月22日まで開設していた。ボランティアセンターを通じて、計36,378人ものボランティアが活動した。	活動	50	益城復興市場・屋台村	惣領1415	平成28年6月から平成29年10月まで、約30mのテントの中に被災により営業ができなくなった16の飲食店や理髪店などが仮営業をしていた。	活動	90	四賢婦人記念館	杉堂1250	上記記念館が、潮井自然公園内に移転された。	活動
17	益城町役場仮設庁舎	木山594	旧庁舎が被災したため、農地を借りて建設された。平成29年5月8日より業務移転。	活動	51	広安小学校区自主防災クラブ	福富1001	被災時に広安小学校で避難所を運営していたメンバーが核となって発足した組織。地域の防災力向上を目的として様々な活動を行っている。	活動	91	テクノ仮設商店街	小谷2083-7	県内最大規模の仮設団地である、テクノ仮設団地内に設置された仮設商店街。地元の実業家が仮営業を行ったほか、イオンの店舗も出店していた。	活動
18	災害廃棄物一次仮置場	福原690-1	地震により甚大な被害を受け、使用不可能となった。平成30年7月に完全に解体された。	活動	52	JA広安倉庫	惣領1853	支援物資の集積場として活用された。防災備蓄物資の保管委託業者である熊本交通運輸が、倉庫の運営・管理を委託した。	活動	92	ましきフットパス（上陳・下陳）	上陳・下陳地区	平成30年3月に開催された、上陳・下陳地区を歩いて回り、震災遺構や歴史遺産を見学するイベント。ましきフットパスの会主催。	活動
19	旧益城町役場	宮園708-1	地震により甚大な被害を受け、使用不可能となった。平成30年7月に完全に解体された。	活動	53	阿蘇火山の堆積物と断層の関係が確認できた。現在は復旧済み。	大地	阿蘇火山の堆積物と断層の関係が確認できた。現在は復旧済み。	大地	93	JA田原倉庫	田原831	震災直後、各地から大量に届く物資の集積場が必要となり、まとまった広さをもつJAの選果場が活用された。	活動
20	益城復興事務所	福原690-1	平成30年4月に熊本県に開設された。熊本県が掲げる「創造的復興」に向けて、町と連携し様々な事業を展開している。	活動	54	飯野小学校	砥川910	地震により校舎等に被害が出たが、車中泊避難も含み最大で約500人の避難者が身を寄せた。後に、運動場に仮設住宅が建設された。	くらし	94	堂園池から流れ出る水路と石造物	堂園池（堂園657-1）より南へ約50m	堂園池の近くの水路や農道の変位から、辻ヶ峰から杉堂方面へ断層がはまっていることを確認できる。一部は復旧済み。	大地
21	総合体育館	木山236	特に本震でアリーナが甚大な被害を受けた。仮に前震の直後にアリーナを避難所として開放していた場合、筆舌に尽くしがたい人的被害が出たと推測される。それでもロビーや通路に多くの人が避難し、ピーク時には車中泊・テント泊も含め1,352人が避難した。閉鎖は町内の避難所でも遅く、平成28年10月末まで開設していた。現在は解体され、新体育館が同敷地に建設されている。	活動	55	赤井仮設団地	赤井1837	全35戸の仮設住宅団地に、最大35戸・94人が入居していた（平成28年7月時点）。	くらし	95	辻ヶ峰公園石碑・慰霊碑跡	辻ヶ峰公園敷地内	倒壊した慰霊碑・記念碑の一部から、辻ヶ峰公園を縦断する断層による地震の破壊力やうかがい知ることができ。一部は復旧済み。	大地
22	旧給食センター	寺迫50	被災時点で築37年が経過しており、もとより立替の予定であった。震災により被害を受け、令和元年11月に解体された。	活動	56	小池島田仮設団地	小池1601	全82戸の仮設住宅団地に、最大78戸・204人が入居していた（平成28年12月時点）。	くらし	96	辻ヶ峰産の横ずれ露頭	辻ヶ峰公園より北へ約100m	採土場にある露頭において崖の横ずれを確認することができたが、経年劣化により現在は崩落している。	大地
23	新給食センター	宮園963-1	平成31年3月に完成し、町内の小中学校7校へ給食の提供を開始した。	活動	57	東無田仮設団地	小池1622	全13戸の仮設住宅団地に、最大13戸・31人が入居していた（平成28年12月時点）。	くらし	97	溝曲した水道管	北公民館（下陳773-2）より北へ約200m	激しい地震活動は、頑丈な水道管を押し曲げた。ライフラインに地震が及ぼす影響や、人工物に加える力を実感することができる。現在は町にて保管中。	大地
24	サンジ像	木山236	熊本県が行う、人気漫画・ワンピース熊本復興プロジェクトの一環として、作中のキャラクターであるコックの「サンジ」の銅像が建設された。	活動	58	柳島仮設団地	島田929-1	全41戸の仮設住宅団地に、最大40戸・103人が入居していた（平成29年1月時点）。	くらし	98	変位した金山川堤防	工津橋から金山川沿いに北西へ約100m	ずれた堤防や畦道から、当時の断層の動きを確認することができた。現在は復旧されている。	大地
25	町道横町線側溝の変位	熊本高森線木山交差点から南へ約200m	側溝のすれなどによって、町内を横切る鮮明な地表面断層を視覚的に実感することができる。今後復旧される予定。	大地	59	飯野小仮設団地	砥川900	全48戸の仮設住宅団地に、最大48戸・129人が入居していた（平成28年11月時点）。	くらし	99	金山川上流の民家前の石積法面	工津橋から金山川沿いに南東へ約200m	畑地の法面や畦畔のすれから、地表における断層の活動を視認することができる。	大地
26	木山神社	木山281	地震によって、多数の灯籠や鳥居などが倒壊した。当時の揺れの凄まじさを実感できる。今後復旧されている見込み。	大地	60	島田団地	島田303	木造平屋建ての災害公営住宅で、6戸を整備。令和2年3月完成予定。	くらし	100	傾いた猿田彦石碑	北公民館（下陳773-2）より北へ約200m	傾いた石碑や、東西にずれた水田の畦畔から、地震による変位を視覚的にとらえることができた。現在は復旧されている。	大地
27	畑中橋	国道443号畑中橋	地震によって生じた、橋の欄干と親柱のすれを視認することができた。現在は復旧済み。	大地	61	島田団地	島田385	木造平屋建ての災害公営住宅で、6戸を整備。令和2年3月完成予定。	くらし	101	変位した用水路	下陳・三竹集落内	震災によってずれが生じた用水路が保存されており、当時の変化を確認することができた。現在は復旧されている。	大地
28	液状化により変位した地表	総合運動公園内	地震により変位した地盤とマンホールを確認することができた。現在は復旧済み。	大地	62	島田団地	島田428	木造平屋建ての災害公営住宅で、16戸を整備。令和2年3月完成予定。	くらし	102	杉堂の地すべり露頭	荒瀬橋より木山川沿いに南東へ約200m	地震の揺れにより、大規模な地滑りが発生した露頭。杉堂～上陳地区へつながっている断層をたどることができる。今後、復旧予定。	大地
29	寺迫地区の農道・町道	益城中央小学校の北～北東の農道	3地点において農業用の水路が変異しており、地表断層の存在を視覚的に確認することができる。修復されているが、生じたすれを確認することは可能。	大地	63	砥川第1団地	砥川1748-1	木造平屋建ての災害公営住宅で、10戸を整備。平成31年1月完成。	くらし	103	布田川断層帯（堂園地区）	上陳649	田畑の畦畔のすれが、当時の地表断層の変位を表している。布田川断層の活動を広い範囲で観察することができる。国の天然記念物に指定された。	大地
30	新木山橋橋脚付近の地盤沈下	国道443号新木山橋	橋梁と、橋脚に接する路面との間に段差が生じており、河川の地盤沈下を確認することができた。現在は復旧済み。	大地	64	砥川第2団地	砥川2801	木造平屋建ての災害公営住宅で、7戸を整備。令和2年1月完成予定。	くらし	104	布田川断層帯（杉堂地区）	杉堂1338	布田川断層の起点と言え場所であり、地震により甚大な被害を受けた潮井神社がある。豊富な湧水が湧き出ており、湧水と断層の関係を観察することができる。国の天然記念物に指定された。	大地
31	広安西小学校	福富1001	前震の直後より避難所として活用され、本震後の平成28年4月17日には約1,000人の避難者が身を寄せた。	くらし	65	公民館飯野分館	砥川1735-1	地震の翌月、平成28年5月より避難者が身を寄せ、最大46人が避難していた。	くらし	105	杉堂の取付道路崩落露頭	潮井神社（杉堂1341）より西へ約100m	地震に伴い、本来斜面にあった道路と水路が崩落しており、地震の被害を肌で感じることができることも、露頭の観察によって付近の貴重な地質を観察することができる。今後、復旧予定。	大地
32	広安小学校	馬水35	前震の直後より避難所として活用され、最大時には約800人が避難した。	くらし	66	災害スタディツアー	島田地区	地震の爪痕や住民が取った行動など地震の教訓を、これから災害に遭う危険性がある「未災地」の方々に伝えるツアー。東無田復興委員会主催。	活動	106	堂園池（大蛇伝説）	堂園657-1	それまで土地を荒らしていたが、後に改心して大蛇のために掘り、まごとなった、という伝説が残る。断層の直隣にあり、地元では「地震は大蛇が暴れたのだから」と噂になった。	大地
33	惣領仮設団地	惣領1851	全63戸の仮設住宅団地に、最大59戸・146人が入居していた（平成29年6月時点）。	くらし	67	ましきフットパス（砥川）	砥川地区	平成29年12月に開催された、地元の実業や熊本地震の痕跡の残る場所を歩いて巡るツアー。ましきフットパスの会主催。	活動	-	消防団活動	町内全域	自身も被災者でありながら、震災直後より町内各地で消防団員による精力的な活動が行われた。	活動
34	広崎仮設団地	広崎1160-1	全53戸の仮設住宅団地に、最大53戸・142人が入居していた（平成28年9月時点）。	くらし	68	国道を横切る断層による歩道の変位	上砥川公民館（砥川3000-2）から北へ約1000m	国道443号線を横切る布田川断層の活動を、側溝やすれによる段差を通じて視覚的にとらえることができた。現在は復旧済み。	大地					
					69	東無田神社	島田342	地震により社や灯籠・鳥居が倒壊。令和1年10月に拝祭が復旧した。	大地					
					70	道路を横切る地表断層	国道443号山交差点から西へ50m	西へ延びる布田川断層の活動を、歩道の境界ブロックのすれから視覚的にとらえることができた。現在は復旧済み。	大地					
					71	砥川溶岩露頭	岩戸川に架かる下鶴橋付近	断層により形成された砥川溶岩の上に阿蘇火山の火砕流が堆積していることによって、阿蘇の伏流水として熊本平野に湧水がもたらされていることが確認できた露頭。保存はされていない。	大地					
					72	平田仮設団地	平田1128	全48戸の仮設住宅団地に、最大46戸・123人が入居していた（平成29年1月時点）。	くらし					
					73	中田団地	福原1901-1	木造平屋建ての災害公営住宅で、21戸を整備。令和2年1月完成予定。	くらし					
					74	畑中団地	福原1926-1	木造平屋建ての災害公営住宅で、10戸を整備。平成31年2月完成。	くらし					

